会　議　録

会議の名称		令和8年度第2回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和8年9月28日（月） 開会：午後1時30分　閉会：午後2時45分		
開催場所		守谷市役所 庁議室		
事務局 （担当課）		健幸福祉部 健幸長寿課		
出席者	委 員	城賀本会長、安田委員、南良委員、木内委員、八木岡委員、 若杉委員、宮原委員、六倉委員、小澤委員、本台委員 計10名		
	その他	守谷市北部地域包括支援センター　清水管理者、 廣澤主任介護支援専門員 守谷市南部地域包括支援センター　石塚センター長、 工藤主任介護支援専門員 計 4名		
	事務局	森山健幸福祉部次長兼健幸長寿課長、椎名健幸長寿課長補佐、 宮下係長、海老澤係長　計 4名		
公開・非公開の状況		■公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合はその理由				

会 議 次 第	1 開　会 2 あいさつ 3 報告事項 （1）令和７年度守谷市地域包括支援センター決算報告について （2）令和８年度高齢者支援事例報告について （3）新規事業サービス・活動Ｃの開始について （4）第10期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案）について 4 介護福祉課報告事項 （1）地域密着型サービス事業所「デイサービスケアパーク守谷」の指定更新について （2）介護予防支援事業所「居宅介護支援事業所エンリッチ」の新規指定について 5 その他 6 閉　会

確 定 年 月 日	会 議 録 署 名
令和8年10月2日	城賀本 満登

審　議　経　過

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

（1）令和７年度守谷市地域包括支援センター決算報告について

南北の地域包括支援センターから、令和７年度守谷市地域包括支援センター決算報告について報告を行った。

【主な意見等】

委　　員：歳入に対して、事務費の支出が多いのはなぜか。

南部包括：車両リースの期間が満了となったことや、パソコンソフトの更新が重なったため、支出が増額となっている。また、物価高騰も影響している。

事 務 局：今年度から再度契約を締結するにあたり、委託料の見直しを行った。事務費については、300万円から500万円に増額し、人件費についても一人あたり550万円から600万円に見直しをさせていただいている。

委　　員：これまで法人が負担していた分の補填は無いのか。

事 務 局：補填はない。令和8年度契約からの見直しとなる。

委　　員：南部と北部で指定介護予防支援収入に大きな差があるのはなぜか。

北部包括：ケアプラン作成については、居宅介護支援事業所に委託できることとなっており、包括から居宅介護支援事業へ委託させていただいている。現在の包括の体制では、包括で受け持つ件数をすぐに増やすことは難しい。

（2）令和８年度高齢者支援事例報告について

南北の地域包括支援センターから令和 8 年度高齢者支援事例報告について報告を行った。

【主な意見等】

委　　員：南部の事例で、認知症で暴力を振るったとのことだが、精神病院に入ったのは精神系の疾患があったのか。

南部包括：一度施設に入所したが、施設職員にも暴力を振るってしまう等の行動が見られたため、一時的に精神病院で様子を見ることとなった。今後の対応については、精神科医とも相談のうえ検討していく。

会　　長：二事例とも特養でよく見るケースではある。入所に拒否が見られれば精神科に繋ぐこともある。精神科医でないと対処が難しいこともある。

委　　員：北部の事例は見守り協定事業所から繋がったとのことだが、他にはどのよう

な事業所があるのか。
事 務 局：新聞配達の他、スーパーや保険会社、コンビニ、生協等多くの事業所と協定を締結させていただいている。
委　　員：地域の見守りはとても大切だと思うので、今後も続けてもらいたい。

（3）新規事業サービス・活動Cの開始について
事務局から、新規事業サービス・活動Cの開始について報告した。

【主な意見等】
委　　員：軽い認知症の方で閉じこもりになっている方がいる。包括への相談を勧めているが、介護サービスの利用には抵抗がある様子。自分で目標を立てて取り組むのはとても良いことだと思う。市としてどのように周知していく予定か。
事 務 局：今後、広報でも特集を組む等、周知に努めたいと考えている。
委　　員：どのくらいの利用者を想定しているのか。
事 務 局：リハビリテーション専門職や送迎等のキャパシティも考慮し、月3人ずつ程度で、一月あたり9人の利用者を見込んでいる。
委　　員：自宅での自主トレーニングがメインという認識で良いか。
事 務 局：自宅での自主トレーニングがメインとなる。3ケ月の間に習慣化することを目指している。市でも利用者の動画を撮って記録を残している。
会　　長：対象者の選定は。本人の意欲がないと難しいのではないか。要支援認定者の7割を対象に目指しているとのことだが、難しいのではないか。
事 務 局：回復できる能力があるかどうかは見極めが重要だと考えている。本人のやる気を引き出すのは、専門職の力だと考えている。
委　　員：とても画期的な取組だと思う。周知方法として、高齢者のみ世帯であれば直接本人への周知で良いと思うが、同居世帯には家族から勧めてもらうのも有効だと思う。

（4）第10期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案）について
事務局から、第10期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案）について報告した。

【主な意見等】
なし

4 介護福祉課報告事項
（1）地域密着型サービス事業所「デイサービスケアパーク守谷」の指定更新について
（2）介護予防支援事業所「居宅介護支援事業所エンリッチ」の新規指定について

介護予防支援事業所の指定について健幸長寿課から概要の説明を行った後、介護福祉課から、地域密着型サービス事業所「デイサービスケアパーク守谷」の指定更新及び介護予防支援事業所「居宅介護支援事業所エンリッチ」の新規指定について報告を行った。

【主な意見等】
なし

5 その他
なし

次回の会議日程
令和9年2月22日（月）午後1時30分から

6 閉会